

“みる”をめぐる 7つのお話

特別ワークショップ・レクチャー

みる？

「見る」「観る」「診る」「看る」、
そして「視る」。

“みる”っていったいどういうこと？

休憩を含めて3時間の

ワークショップ・レクチャー。

ただ話を聞くだけじゃなく、

資料や映像を交えるのはもちろん、

時には身振り手振りの実演や演奏を交えた

ワークショップ形式のレクチャーです。



『みる』っていったいどういうこと？

神田 岳委 | 九州自然動物公園 獣医師
Kanda Iwai

深町 絵里 | フリーアナウンサー
Fukamachi Eri

菊田 徹 | 白杵市歴史資料館 館長
Kikuta Toru

鈴木 広志 | ミュージシャン
Suzuki Hiroshi

渡辺 智恵美 | 別府大学文学部 教授
Watanabe Chiemi

豊田 徹士 | 豊後大野市歴史民俗資料館
Toyota Tetsushi

杉山 享司 | 日本民藝館 学芸部長
Sugiyama Takashi

大分県立美術館

其の一

「診る」「看る」「観る」～動物のお医者さん

講師 神田岳委 Kanda Iwai | 九州自然動物公園 獣医師

日時 2016年10月8日[土] 13:30-16:30



“みる”をめぐる7つのお話に最初に登場するのは、九州自然動物公園サファリパークで動物のお医者さんをしている神田岳委さん。毎日動物たちをみていると、今日はキリンの顔色が悪い、ライオンが笑っているなどわかるそうです。

今回は、より多くの人に、動物って不思議！と感じて欲しいというお話です。動物を診(看)ている神田さんのお話を聞くと、動物を観に行きたくなること間違い無し。

其の二

声色ってどんなイロ？耳を澄まして声をみる

講師 深町絵里 Fukamachi Eri | フリーアナウンサー

日時 2016年11月5日[土] 13:30-16:30



深町絵里さんの声、ラジオから聴いたこと、ありますか？

“みる”をめぐる7つのお話、二回目はラジオ・パーソナリティやレポーターをはじめ、さまざまな電波に登場する深町さんによる生の声、マイクを通した声、そしてイントネーションや抑揚の変化など、様々なしゃべり方による声のお話会です。なんと生の声で聴く絵本の朗読も。深町さんの声色に、目を瞑って耳を澄ましてください。声の調子や感じに迫る、DJ風の変ったお話会です。

其の三

「みる」から「読む」へ
～きれいだけじゃない、絵地図の魅力

講師 菊田 徹 Kikuta Toru | 白杵市歴史資料館 館長

日時 2016年11月19日[土] 13:30-16:30



大きく迫力のある絵地図は畳に敷き、四方から見ていたため、絵の中に上下はありません。またその多くは「城」を中心に「道路」「河」「集落」が描かれています。こうした絵地図はなぜ描かれたのでしょうか。歴史の背景に隠された秘密を絵地図から探る！描かれた城下町の絵地図を現在と比較して街道を歩く「絵図ウォーク」を実施している白杵市歴史資料館の館長、菊田徹さんのお話です。

其の四

奏でるレクチャー・絵を音で見る

講師 鈴木広志 Suzuki Hiroshi | ミュージシャン

日時 2016年12月3日[土] 13:30-16:30



ミュージシャンの鈴木広志さんは、狩野永徳の作品といわれる「上杉本洛中洛外図屏風(米沢市上杉博物館)」を見て、音楽を創造して作曲を行いました。美術と音楽はどんな関係があり、影響しあうのでしょうか。この講座では、お話に加えて鈴木さんの即興演奏を交えて行います。美術と音楽の関係に迫る今までにない「奏でるレクチャー」です。

“みる”をめぐる7つのお話

其の五

肉眼・目視から200倍の視力まで
～保存と修復の世界をみる

講師 渡辺 智恵美 Watanabe Chiemi | 別府大学文学部 教授

日時 2017年1月21日[土] 13:30-16:30

10円玉を200倍の視力で見ると！すると肉眼では気づかなかった形が見えてきます。大分県下を中心に文化財の保存修復や文化財を守るための環境調査に取り組んでいる渡辺智恵美さんは、我々の普段の生活では見えないサイズでモノを見ることで、製作技法や素材、考古学的な情報を引き出します。文化財の保存と修復の世界を、倍率を変えて見る顕微鏡の世界とともに、たっぷり伺います。

其の六

受け継がれた究極のマンネリズム 神楽を観る

講師 豊田徹士 Toyota Tetsushi | 豊後大野市歴史民俗資料館

日時 2017年2月18日[土] 13:30-16:30



神楽の魅力を豊後大野市歴史民俗資料館の豊田徹士さんに伺います。豊田さんは神楽を「形のない伝統を継ぐこと」「受け継がれた究極のマンネリズム」と、みえています。スティック、サディスティックに伝統を受け継いできた人たちの悲喜交々と、その結果である神楽の「カタ」、伝承者の意思や地域の意思の話の数々。神楽を観る眼が変わります。

其の七

民藝を観る、愛でる

講師 杉山享司 Sugiyama Takashi | 日本民藝館 学芸部長

日時 2017年3月4日[土] 13:30-16:30



普段用いる日常品の美しさに着目した柳宗悦(1889-1961)は、無名の職人達が作った民衆の工芸品を「民藝」と名付けました。様々なモノに出会って、触発されて、展開されていく中、柳宗悦の仕事は発見の連続。その出会いから日本民藝館は生まれました。

“みる”をめぐる7つのお話最終回は、柳宗悦の出会ったモノのお話を日本民藝館の杉山享司さんから伺いながら、日常の美しさについて振り返ります。



『みる』っていったいどうゆうこと？

大分県立美術館

ワークショップ・レクチャー申し込みのご案内

会場	大分県立美術館 2階アトリエ
対象	中学生から一般（要事前申込）
定員	50名程度（各講座）
参加費	無料
申込方法	希望する講座名、氏名（ふりがな）、年齢、住所、電話番号（必須）を記入の上、往復はがき、またはホームページ [http://www.opam.jp] の申し込みフォームよりお申し込みください。定員に達し次第、ホームページで受付終了をお知らせします。
募集期間	2016年9月20日（火）～ 各講座の3日前まで（必着）
申込先	大分県立美術館 教育普及グループ 〒870-0036 大分市寿町2番1号 TEL ☎ 097-533-4502 OPAMホームページ http://www.opam.jp <input type="text" value="OPAM"/> <input type="text" value="Q"/>

要事前申し込み

定員に達し次第、
受付終了します。
お申し込みはお早めに。

OPAMの教育普及ってどんなことをしているの？

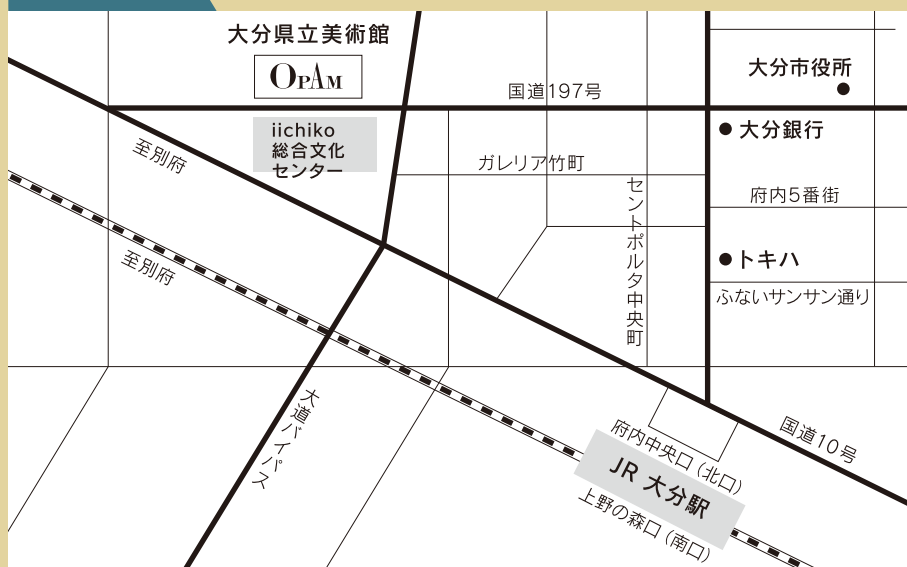
美術を全身で感じる、日常の中から美のカケラを集める、
美術作品を自分の視点で視るなど、さまざまな活動を通して、
「びじゅつってすげえ！」の体験を、
参加する皆さんとともに楽しんでいます。

ワークショップ、鑑賞ツアー、レクチャー、美術講座、オープンアトリエ、
スクールプログラム、アウトリーチなどのプログラムがあります。
詳しくはホームページ・フェイスブックをご覧ください。



[f http://www.facebook.com/OPAM_education](http://www.facebook.com/OPAM_education)

MAP



大分県立美術館

〒870-0036 大分市寿町2番1号
TEL 097-533-4500
FAX 097-533-4567
<http://www.opam.jp>

- ・JR大分駅府内中央口（北口）から徒歩15分
- ・大分ICから車で10分

屋外駐車場／地下駐車場／駐輪場完備
※iichiko総合文化センターの駐車場も
ご利用いただけます。